

# 「あいかわらず」の用法 — コンテキストとの関わりを中心に —

徳井 厚子

## 1 はじめに

外国人に日本語を教えていると、外国人学生をつくる用例が文法的には正しくても、コンテキストという観点からは適切ではない用例がよくみられる。その一つの原因として、日本語がコンテキストにかなり依存した言語であることが挙げられるといえよう。

本名(1997)は、日本型コミュニケーションの言語構造の特徴として、「察し」による言語コミュニケーションを挙げている。本名は、「日本語の場合、前提の共有知識にささえられ、「察し」の働きに依存すると、くわしく説明しようとする気がなくなる。話し手や書き手は、自分が知っていることは他人も知っていると思いがちなので、なにも知らない人を対象にものごとを順序正しく正確に説明することが、うつつとしく、めんどうになるのである。」と説明している。

また、エドワード・ホールはコミュニケーション情報が受け

手と状況の中にあらかじめプログラム化されており、伝達されたメッセージの中にほとんど盛り込まれていない文化を高コンテキスト文化、ほとんどの情報が伝達されるメッセージの中にくみこまれていてコンテキストにほとんどくみこまれていない文化を低コンテキスト文化とした。ホールによれば、日本文化は高コンテキスト文化であるという。

外国人学習者にとって「日本語を学ぶ」ことは「日本語の社会的・心理的コンテキストも共に学ぶ」ことであるといえよう。しかし、これまでコンテキストとの関わりから日本語の問題をとらえようとした研究は少なかつたように考えられる。

小論では、中・上級学習者の日本語学習者によく誤用のみられる「あいかわらず」の用法を一事例として取り上げ、コンテキストとの関わりからその使用法をみていきたい。

## 2 先行研究

### — コンテキストとの関わりの教育の必要性 —

まず、辞書の定義からみてみたい。

#### 新明解国語辞典

「相変わらず」今までと比べて少しも変化が見られないことを表わす。— (元氣) だね。— の弱さにはまゆをひそめる。

#### 広辞苑

「相変わらず」以前と同様に。平常と特に変化なく。「相もかわらず」はこれを強めた言い方で、あざけり・ひやかしの気持ちが加わる。

#### 日本語大辞典

「相変(わ)らず」今までと変わらない。いつもの通り。

#### usual

これらは母語話者向けにつくられているものであるが、意味の説明にとどまり、たとえば「依然として」との使い分けなどは説明されていないため、これらの説明のみでは混同するおそ

れがある。

では、日本語学習者(日本語教師)向けに書かれたものにはどのように説明されているだろうか。

#### 外国人のための基本語用例辞典(第三版)

「相変わらず」前と同じように。いつもの通り。

○銀座は相変わらずにぎやかです。

○私は相変わらず元気ですから、ご安心下さい。(手紙のことば)

○ことしも相変わらずよろしくお願いいたします。(新年のあいさつ)

○けさも電車は相変わらず混んでいた。

○「おとうさんのご病気はいかがですか。」「ありがとうございます。相変わらずです。」(「の」の形で、形容詞的に使われることもある。)

○相変わらずのひどい生活だ。

#### 基礎日本語辞典 森田良行

「あいかわらず」ある事柄の程度が時間的に隔たっているにもかかわらず、前と同じ程度でかわっていない状態。

「相変わらず」という以上、話し手の脳裏では、過去のあの時期の状態を思い出し、それと現在の状態とを比較して

いる。そこに変化が見られなければ「相変わらず」。

ところで「相変わらず」の発想には二種ある。世の中、人生、肉体、何事によらず時の流れとともに変化するものだが、その変化にはマイナス方向への変化とプラス方向への変化とがある。

(1) マイナスの前提だったのが、予想に反してプラスの結果である場合

a ご隠居さま、相変わらずお元気で何より。

b 相変わらずの繁盛ぶり

(2) プラスの前提だったのが、予想に反してマイナスの状態である場合

c 相変わらず安月給のびいびい

d 景気は相変わらずの低成長

e 相変わらずのおつちよこちよい

また、関連語彙として森田は「依然として」について次のように説明している。

g 景気は依然として回復しない。  
h 依然として音沙汰なし。

「外国人のための基本語用例辞典」の場合、用例が豊富であり、また場面による使い分けが示されている。また、森田は、「あいかわらず」を前提、時間的側面という観点から説明している。こうした観点からの説明は従来の国語辞典にはみられなかったことであるといえよう。しかし、なぜこのような使い分けがなされているのかについての説明が不十分である。日本語を教える場合、意味論という観点を超え、「日本語のコミュニケーション」がどのような特徴をもっているのかという視点から捉え直していく必要があるのではないかといえる。

本名(1997)は、日本型コミュニケーションの言語構造として、「察し」による言語コミュニケーションを次のように示している。

0 察し (了解事項の共有)

1 言語の役割 .. 制限的

「言わなくてもわかる」

2 表現の形式 .. 非説明的

「お湯の中で白く濁るのは湯の花ですので、ごゆっくりお入りください。」

もとのままであること。動作、様子、態度、状態が固定して変化しない様子を形容し、特にプラス、マイナス方向への変化を前提とした不変の状態ではない。

f 両力士、水入り後も依然として動かず。

### 3 統語の方法 … 縮略的

「わたしは社長だ。」

本名によれば、このような察しによる日本型コミュニケーションが、説明型コミュニケーションの学習者との間にミスコミュニケーションを起こしてしまうという。外国人に日本語を教える場合、言語形式や意味のみ教えるのではなく、「なぜこのような用法をするのか」コンテキストとともに教えていく必要があるといえよう。

「あいかわらず」を扱う場合、話者、聞き手の心理的な要因や、人間関係等の社会的要因、発話時等もその使い方に影響を及ぼす場合が多い。日本語教育の中で「あいかわらず」を扱う場合、このような要因をも考慮し、コンテキストと共に教えていく必要があるといえる。

以下では、留学生のつくった作例をもとに、「コンテキスト」という観点から「あいかわらず」の使用法をみていくこととする。

### 3 「あいかわらず」の用法

— コンテキストとの関連から —

「あいかわらず」の用法を、実際の学習者の作例をもとにみてみよう。(学習者の日本語力は能力試験1級程度である。)

- (1) ジョンさんは、相変わらず少なくとも10分位は授業中眠っています。(ケニヤ)
- (2) 私は相変わらず毎日学校へ行ったり、ごはんを食べたり、ねたりして過しています。(マレーシア)
- (3) 新年あけましておめでとうございます。今年も相変わらずよろしくお願いたします。(韓国)
- (4) たとえどんな時がやつてきても私たちは相変わらず愛し続けたいのです。(ネパール)
- (5) おかげさまで相変わらず学業が順調にすすんでいます。(台湾)
- (6) みなさんお元気ですか？去年も相変わらず元気で生きてきました。(中国)
- (7) その法案にわたしは相変わらず賛成する。(マレーシア)
- (8) 先生は相変わらずA校で教えていますか？(中国)

(1)は「相変わらず10分位は眠っている」とした方が適切に感じる。これはなぜだろうか。それは、「少なくとも10分位」とかなり厳密な時間の捉え方をしているためであると考えられる。次の例文をみてみよう。

a 相変わらず日曜日は雨が多い

b ここは相変わらず午前中は人通りが少ない。

c ここは相変わらず1時30分から2時まではずいている。

a bは日曜日、午前中と幅のある時間の捉え方をしているため、適切であるが、cの場合は「1時30分から2時まで」と厳密な捉え方をしており、適切性に欠ける。これを

c ここは相変わらず二時頃はずいている。

とした方がより適切な文章となるといえる。

(2)を不自然に感じる理由としては、「毎日学校へ行ったり、ごはんを食べたり、ねたりして過ごしています」とかなり具体的な動作を示していることが原因であると考えられる。しかし、次のように動作をすべて言語化しない場合には、適切であると

いえよう。

d 私は相変わらず毎日学校へ行ったりして過ごしている

この場合、「毎日学校へ行く」動作以外の動作も含意している。

以上の例からみると、「あいかわらず」は状況を精密に言語化した場合には用いられにくいということがいえよう。これは日本語そのものがコンテキストに依存した言語であることも影響しているといえる。では、なぜこのように精密な言語化をしない方が適切なのだろうか。

これは、その場の状況をあえて言語化しないことによつて（ほかすことによつて）話し手、聞き手が言語化されていない部分のコンテキストを共有する、という効果をもつことができるからであるといえる。「あいかわらず」は相手とのコンテキストの共有を前提としているといえよう。さらに、「あいかわらず」を使用することによつて相手と共通のコンテキストを共有し、相手との心理的距離を縮めるといえる。また、「あいかわらず」は相手と何らかのコンテキストを共有している場合には用いられやすいが、初対面の人との会話では用いられにくいといえよう。

次に、「あいかわらず」の使用が成立するためのコンテクス

トをもう少し詳しくみてみよう。次の会話が成立するのはどのようなコンテキストの場合であろうか。

e お元氣ですか？

f 相変わらずです。

e fが初対面の場合は共有するコンテキストがないため、不可能であろう。この会話が成立するためには、少なくともこのふたりの間に何らかの共通する知識・コンテキストがあることが条件となる。例えば、eが、fについて例えば多忙であることを知っていればeは、fの返事を相変わらず（忙しい）と解すことが可能である。以前と変わらない、という返事は相手に対して安心感を与えるという役割も担っているのではないかと見える。

e、fの会話で、fは「それほど変わっていない」ことを示し、そう示すことで相手との関係を継続させようとしている。すなわち、人間関係の継続のために用いられている一種の挨拶言葉であるともれよう。また、「あいかわらず」には自己をへりくだるという働きもしている場合が多い。「先生は相変わらずA校で教えていますか？」が不自然に感じられるのも「先生」という目上の人の状況をきくのに「あいかわらず」を用いていることがひとつの理由と考えられる。

次に、「あいかわらず」が用いられる時間的側面について考えてみよう。

「あいかわらず」が用いられる場合、現在を基準とし、過去のある時点から現在までの時間的経過をさすため、次のような文章は適切ではないといえる。

(4) たとえどんな時がやってきても私たちは相変わらず愛しつづけたのです。

(6) みなさんお元氣ですか。去年も相変わらず元氣で生きてきました。

(4)は未来、(6)は過去の時点について言及しており、いずれも現在を基準としていないため、不適切である。

では、次に「依然として」の用法と比較しつつ、「相変わらず」の用法をみてみよう。

サッカーの試合を状況中継しているアナウンサーの発言である場合、a、bはそれぞれのように異なるだろうか。

a 相変わらず0対0ですね。

b 依然として0対0ですね。

aの場合、話者の心理的状況が「点が入ってほしいのに(予想に反して)まだ入らない」である。これに対してbの場合、特にこのような心理的状況を前提としておらず、客観的にアナウンスしている。すなわち、「あいかわらず」は話者の期待が関連している。

#### 4 「あいかわらず」の使用にかかわるアンケートの考察

では、「あいかわらず」の使用は実際はどのようなであろうか。ここでは日本人学生94名、留学生21名のアンケートをもとにみてみよう。(日本人回答総数94名、留学生回答総数21名)(表1)なお、(1)~(2)は3章で示した文章である。

表は「あいかわらず」について問題なく使える○、使えたり使えなかったりする△、使えない×を記したものである。

表から日本人学生、留学生にかかわらず「あいかわらず」の使用については個人差がかなりみられることがわかる。これは、「あいかわらず」がコンテキストに依存しているため、その使用状況も個人によってかなり異なるためといえる。

日本人学生の場合、例えば(8)「先生は相変わらずA校で教えていますか?」の文の場合、「話者と先生が友達のような関係

(表1) 「あいかわらず」の使用法について

	日本人学生 (%)			留学生 (%)		
	○	△	×	○	△	×
1	61.7	21.2	15.9	33.3	9.0	57.1
2	50.0	23.4	28.7	38.0	28.5	33.3
3	9.5	20.2	70.0	66.6	9.5	23.8
4	21.2	19.1	59.5	71.4	4.7	23.8
5	36.1	18.0	46.8	19.0	14.2	66.6
6	21.2	14.8	65.9	14.2	4.7	76.1
7	19.1	9.5	72.3	4.7	4.7	90.4
8	37.2	37.2	21.2	28.5	28.5	42.8

ならばOK」「イントネーションによって適切性が異なる」のように文章が適切な場合のコンテキストを条件として挙げ、回答しているものが多くみられた。特に(8)の場合、は条件つき回答が多くみられた。また、(1)の場合、「一度眠っていて怒られたことがあったのに、それでもくせがなおらないというイメージ」のように条件をつけて○にしている学生もみられた。

しかし、留学生の場合、コンテキストにより適切性が異なることに言及した回答はみられなかった。また、

(4)「たとえどんな時がやってきても私たちは相変わらず愛し続けたいのです。」(6)「みなさんお元気ですか？ 去年も相変わらず元気で生きてきました。」の2文については留学生に○の回答が圧倒的に多くみられた。これは留学生の多くが「あいかわらず」が現時点を基準とした用法であることが理解されていなかったためと思われる。

母語話者の場合、非母語話者に比べ、コンテキストによる使い分けがなされているといえよう。

## 5 教材案

では、「あいかわらず」はどのように教えればよいだろうか。

「あいかわらず」のようなコンテキストが重要視される語の場合、話者の心理的コンテキスト、話者と聞き手の関係なども示

しながら教える必要があるのではないかと考える。

ここで、上級学習者向けに教材案を考えてみる。

1 Aさん お元気ですか？

Bさん 相変わらずですよ。

この場合、AさんとBさんは知り合いです。(初対面の場合はいりません。)

例えばBさんがいつも忙しくしていることをAさんが知っているとしましよう。Aさんが「お元気ですか」と聞き、Bさんが「相変わらずです」と答えた時、Aさんは「相変わらず(忙しい)です。」と解釈します。

2 Aさん 先生は相変わらずA校で教えていますか？  
先生 ……？

この場合、先生は「今は当然別の学校に移っているはずなのに、今もA校に残っている」という意味になってしまいます。「あいかわらず」は期待していたこと、あるいは当然別の状況になるはずなのに、そうではないという意味をもつからです。また、自分を低く見るときに

## 6 まとめ

以上、小論では、コンテキストとの関連から「あいかわらず」の使用法を考察した。日本語はコンテキストに依存する言語であるといわれているが、実際の日本語教育においては、コンテキストと共に教えられているケースはあまり多くない。このため、ことばのもつ微妙なニュアンスを伝えることができなかつたり、あるいは心理的な摩擦の原因ともなっているケースが多いのではないかと考える。

筆者は、特に副詞等教える場合、単に語の意味ばかりではなく、話者、聞き手の心理的要因、人間関係等の社会的要因、発話時等のコンテキストと共に学び、状況による使い分けができるよう指導していくことは重要ではないかと考える。

小論では「あいかわらず」の使用法を一事例とし、コンテキストとの関連から考察し、日本語教育への応用を考えてみた。ご意見いただければ幸いです。

### 参考文献

本名信行 1997 「言語教育と異文化間リテラシー」

『異文化間教育』11号

は使いますが、目上の人の動作には使いません。

友達のように冗談ほくいうこともあります。普通はこのようないいかたはしません。

もしも今もずつとという意味であれば「先生は今もA校で教えていらつしやいますか」と言います。

3 この店はあいかわらず1時30分から2時までは、しまつています。

「あいかわらず午後はしまつている」という言い方はOKですが、このようないいかたはあまりしません。

「あいかわらず」を使う時はあまり詳しくそのときの状況を述べる必要がないからです。詳しく述べないことで、ことばにしなかつた部分を話し手と聞き手が理解しあうことで、二人の間がより親密になることができます。

4 みなさんお元気ですか？去年も相変わらず元気で生きてきました。

このいいかたはおかしいです。なぜなら、「あいかわらず」が使われるのは今を基準にしている場合だからです。この文は「去年」を基準にしているため、不適切です。

鍋倉健悦 1990 『日本人の異文化コミュニケーション』 北樹出版

『日本語大辞典』 1989 講談社

『外国人のための基本語用例辞典』 1971 文化庁

『新明解国語辞典』 1991 三省堂

『広辞苑』 1955 岩波書店

森田良行 1989 『基礎日本語辞典』 角川書店

(とくい あつこ 信州大学教育学部助教授)